

電話対応から始める妊婦の症状アセスメント

～臨床推論でレッドフラグを見逃すな！

プランナー：松岡 隆 昭和大学医学部産婦人科学講座 准教授

特集

妊婦と最初にコンタクトするのは助産師の皆さんです。その電話、問診、診察がきっかけで後の対応が大きく変わってきます。最終判断・責任は医師に委ねられますが、ただ情報を右から左へ伝えるのではなく、必要かつ十分な情報を取得できるアセスメント上手になりたいものです。妊婦の訴えはさまざまで、同じ訴えだったとしても、原因となる疾患は軽症から重症と幅があります。上手なアセスメントにより行われたトリアージは、その後の検査の選択を決め、より早い診断と適切な治療へつながります。また、話の中から見逃したくない症状“レッドフラグ”を探し出すことはとても重要です。本企画は、外来や病棟でよくある場面(出血、腹痛、頭痛、発熱・咳、下腿痛、胎動減少、破水感)を想定し、妊婦さんが電話をかけてきたときに、何を確認し、何を聞き出すかについて解説します。さらに、基本情報が全くない未受診妊婦への対応についても解説します。

01. 電話対応のキホン	佐々木 佑	昭和大学病院看護部 助産師
02. 出血のアセスメント①妊娠初期	田中幹二	弘前大学医学部附属病院周産母子センター 診療教授
03. 出血のアセスメント②妊娠中・末期	林 優	東海大学医学部産婦人科 助教
04. 腹痛のアセスメント	青木 茂	横浜市立大学附属市民総合医療センター 総合周産期母子医療センター 准教授
05. 頭痛のアセスメント	大野泰正	大野レディースクリニック 院長
06. 発熱・咳のアセスメント	早田英二郎	東邦大学医学部産科婦人科学講座 講師
07. 下腿痛のアセスメント	倉澤健太郎	横浜市立大学産婦人科学 准教授
	岩田亜貴子	同産婦人科学 助教
08. 胎動減少のアセスメント	叶谷愛弓	東京大学医学部附属病院女性診療科・産科 助教
09. 破水感のアセスメント	富松拓治	大阪大学医学部産婦人科 准教授
10. 未受診入院時のアセスメント	川口晴菜	大阪母子医療センター産科 副部長

連載

分娩時の臨床ビューポイント

CTGのピットフォール、搬送のタイミング アセスメントカアップ！

企画:大野泰正 大野レディースクリニック 院長

読者ターゲット

20代から60代の助産師、看護師、保健師、産婦人科医

ADポイント

女性に寄り添うケアを追究する医師・助産師ら周産期スタッフが協働するための最新の知識が満載。周産期に用いるさまざまな物品のアピールが期待できます。

広告締切

申込締切日: 2022.2.3 版下出版社必着: 4C 2022.2.3 1C 2022.2.17 綴込 2022.2.22

広告料

(税抜き)

掲載面	刷色	スペース	料金	サイズ(mm)
表4	カラー	1頁	250,000	205 × 172【断ち切り】
表2	カラー	1頁	230,000	257 × 182【断ち切り】
表3	カラー	1頁	210,000	257 × 182【断ち切り】
目次裏	カラー	1頁	180,000	257 × 182【断ち切り】
記事※	カラー	1頁	160,000	257 × 182【断ち切り】
記事	1色	1頁	80,000	220 × 150
記事	1色	1/2頁	50,000	105 × 150
綴込		1枚	100,000	仕上がり:天地左右3mm タチシロありの印刷物

※掲載場所指定は20%増の料金となります(記事カラーのみ対応)。

● 広告原稿は完全データをお願いします。 ※ 広告掲載前に審査がございます。事前に広告内容をお知らせください。

● 入稿の際は、広告データ、出力見本(確認用PDF)をご準備ください。

● 広告掲載スペースには、断ち切りサイズ掲載可能スペースと、掲載不可のスペースがあります。掲載スペースとサイズをご確認ください。

広告に関するお問い合わせは、上記の取り扱い代理店、もしくは(株)メディカ出版 総広告代理店(株)メディカ・アド TEL:03-5776-1853までお願いいたします。

取扱い広告代理店